

2017年4月1日～2018年3月31日の間に 当科において脳血流 SPECT 検査を受けられた方へ

—「 ^{123}I -IMP 製剤を用いた脳血流 SPECT における統計学的画像解析法の検討」へのご協力の
お願い—

研究責任者 川崎医科大学附属病院 中央放射線部 副主任技師 阿部俊憲
研究分担者 川崎医科大学附属病院 放射線科 (核医学診療) 部長 曾根照喜
川崎医療福祉大学 診療放射線技術科 特任教授 三村浩朗
川崎医科大学附属病院 中央放射線部 診療放射線技師 佐伯悠介
川崎医科大学附属病院 中央放射線部 診療放射線技師 徳重祥也

1. 研究の対象

核医学診療部では、 ^{123}I -IMP 製剤を用いた脳血流 SPECT における eZIS 解析法の最適なしきい値設定を目的として、川崎医科大学同附属病院倫理委員会の承認を得て、2017年4月1日から2018年3月31日に脳血流 SPECT 検査を施行された方を対象とし、臨床データ（年齢、診断結果、解析指標）の集計を行い、統計学的画像解析法の検討を実施します。

2. 研究目的・方法

脳血流 SPECT 検査では頭頂側頭葉、後部帯状回、楔前部、後頭葉の血流低下の有無を確認することがアルツハイマー型認知症 (AD) やレビー小体型認知症 (DLB) の診断に利用されています。また、統計学的解析法である eZIS 法や 3D-SSP 法を用いることで、血流の低下を客観的に捉えられるようになってきました。しかし、 ^{123}I -IMP 脳血流製剤を用いた場合の eZIS 法では、しきい値が設定されておらず 3D-SSP 法を用いて解析を行っています。そこで、 ^{123}I -IMP 製剤を用いた脳血流 SPECT 検査の臨床データを使用し、eZIS 法の最適なしきい値について検討を行うことを目的とします。

本研究は研究責任者および研究分担者共に、研究結果に影響を及ぼすような資金の受け入れ及び使用はないため、深刻な利益相反の状態にはなっていません。尚、本研究の期間は2018年7月30日～2021年7月30日までとします。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、診断結果、 ^{123}I -IMP 製剤を用いた脳血流 SPECT 検査の臨床データ

4. 個人情報等の安全管理措置

脳血流 SPECT 検査後に記録した臨床データは、当院の情報管理者によって匿名化情報にされ使用されます。匿名化情報は、特定の関係者以外が閲覧しても理解できない状態で情報管理者により管理・保管されます。また、データ管理 PC は核医学診療部の保管庫にて鍵をかけて保管し、記録媒体の持ち出し禁止、盗難等・漏えい等の防止を行います。解析するデータは研究目的以外に使用されません。専門学会、学術専門誌を通じて研究発表する際も個人が特定できないように匿名化されます。データは研究が終了してから論文発表後5年間保管したのち、破棄されます。

5. お問い合わせ先

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の

資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

本研究は、既存の脳血流 SPECT 検査データを用いた研究であり、患者さんへ不利益を与えるものではありません。本研究に対する苦情や画像使用を拒否される場合 2021 年 3 月 31 日までの間に、下記までご連絡下さいますようお願いいたします。

問い合わせ先

川崎医科大学附属病院 核医学診療部

阿部 俊憲 (川崎医科大学附属病院 中央放射線部 副主任技師)

Tel // 086-462-1111 (内線 21520)

E-mail // t.abe@med.kawasaki-m.ac.jp